

衆議院内閣委員会農林水産委員会連合審査会ニュース

平成 27. 4. 24 第 189 回国会第 1 号

4 月 24 日（金）、第 1 回の連合審査会が開かれました。

1 内閣の重要政策に関する件（TPP等）

- ・林農林水産大臣、甘利国務大臣及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

福島 伸 享君（民主）

- ・TPP交渉において、我が国が米国から得られるものはあるのか、甘利国務大臣に伺いたい。
- ・米の輸入について様々な報道があるが、我が国から米国に対して提案を行っている事実の有無について、甘利国務大臣に伺いたい。
- ・米の生産は現状でもコスト割れしており、輸入量が増えれば再生産は困難になることが懸念されるが、林農林水産大臣の見解を伺いたい。

佐々木 隆 博君（民主）

- ・TPP交渉参加を表明した際に安倍内閣総理大臣が守るとした「国益」の具体的イメージ及びそれらの国益を守る方法について甘利国務大臣に伺いたい。
- ・TPP加入によって、経済の地域間格差がより拡大するのではという懸念を踏まえた上でTPP交渉に臨むべきと考えるが、甘利国務大臣の見解を伺いたい。

篠原 孝君（民主）

- ・TPP交渉において為替操作条項について協議が行われているのか、甘利国務大臣の見解を伺いたい。
- ・米国議会に提出されているTPPA法案にTPP交渉について議会で事前の情報公開等を進める内容が盛り込まれていることを踏まえ、我が国でも政府において、国会に対しTPP交渉に係る情報公開を積極的に進める必要があるのではないか、甘利国務大臣の見解を伺いたい。

村岡 敏 英君（維新）

- ・米の輸入枠拡大について協議されている旨の報道があるが、水田をフル活用し、飼料用米の生産を推進しようという政策と矛盾するのではないかと考えるが、林農林水産大臣の見解を伺いたい。
- ・米国では、議員やそのスタッフが交渉文書を閲覧できるとされていることから、我が国においても情報開示を進める必要があると考えるが、甘利国務大臣の見解を伺いたい。
- ・畜産物関係の協議は終わったかのような報道がなされているが、甘利国務大臣の認識を伺いたい。

島山 和也君（共産）

- ・米国におけるTPPA法案の成立がTPP交渉妥結に重要とされる理由について、甘利国務大臣に確認したい。
- ・TPPA法案が成立した後、TPP協定の実施法案が米国議会で承認されず、再協議が必要となった場合の対応について、甘利国務大臣の見解を伺いたい。
- ・甘利国務大臣は、TPPA法案が米国議会に提出されていない段階である本年1月9日の記者会見で、日米交渉について「我々ができることはほぼ全てやり尽くした」と発言したが、その理由を伺いたい。